

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【たちばな小学校】

<第3学年：昔のたちばなにタイムスリップ>

自分たちが住んでいる地域のよさを知り、愛着をもつことができるよう、地域にある施設や歴史について調べ学習を行った。昔を調べる活動では、地域の高齢者を招いてお話を聞いた。昔の学校や地域の様子、暮らしの様子などを人々の思いとともに聞くことができ、今の自分たちと比べて、それぞれのよさや違いに気付くことができた。また、地域に伝わる獅子舞を、時代を超えてたちばなの子どもたちが大切に受け継いできた様子を、映像で見せていただいた。児童は映像に映る子どもたちの姿に親しみをもち、思いに寄り添うことができた。資料だけでは分からない貴重な話を聞き、課題についてより深く迫り、主体的に学習を進めることができた。



<第4学年：人にやさしい町づくり>

体の不自由な人の生き方に触れて、「人にやさしい町づくり」とはどういうものかを考える学習として、福祉体験活動を行った。松山市社会福祉協議会から5名の講師の方に来ていただき、手話、点字、ガイドヘルプを体験した。

活動を通して、体の不自由な人の日常生活の様子を知ったり、交流をしたりすることで、共に生きていくために自分たちにできることは何かを考えることができた。



<全学年：栽培活動>

年間を通じて、各学年で季節に応じて花を選び、一人一鉢による栽培活動を行った。児童は、熱心に水やりを行ったり成長を見守ったりしながら愛着をもって世話をした。栽培委員会では、常時活動として、毎朝の水やりを輪番で行った。また、委員会活動の時間には草引きや花がらつみ、季節に合った花の植え替え等意欲的に活動した。

継続した栽培活動を通して季節を感じるとともに、草花への興味関心を高めることができた。

